

富山は立山黒部アルペ
ンルートに100万人程
の観光客が来ていると言
いますけど、富山市内に入
つて来る人が少ないで
すね。富山市内の観光と

いかに結びつけていくか、大きな課
題だと思っています。そのためには、
富山市内の観光の回遊ルートをいく
つかつくつて、県外の観光客にPR
していかねばなりません。

18年前、富山市内に観光客を入れ
ようと松川遊覧船がスタートして以
来、市内に観光客が入って来るよう
になりました。富山市の歴史をさか
のぼると、神通川から誕生した「水
の都」なんですね。松川は富山城の
外堀だった神通川の名残です。神通
川が町の中心を流れていたことで、
全国で有名になった「ますのすし」



いきいきKAN
財団法人とやま物産センター
専務理事 永森 勲

観光富山を考える

めざせ！ 降りてみたくなる富山

も作られるようになったわけです。

また、富山藩時代からの薬都とし
ての伝統もあります。こうした歴史
を大切にして、市内観光を組み立て
ていかなければなりません。そして、
大型観光バスの駐車場と食事の出来
る場所が必要です。それから、全国
の旅行代理店へのPR。それは大
小問わずPRが必要です。これはま
んべんなく資料を提供すると共に、
エージェントを回って相手の顔を見
ての営業が大切です。

昨年春、松川で久しぶりに遊覧船
に乗る機会がありました。川から
見る町の景色というのは、非常に大
きな楽しみでしたね。普段見慣れて
いるのと全然景観が違って見えまし
た。新幹線が来た時に、「降りてみ
たくなる街」にね、それが大きな目
標です。GL